

項 目	内 容
開会 14:00～	欠席者 委員 1名
部長あいさつ	部長 あいさつ
各委員の自己紹介	
会長・副会長選出	事務局案で了承を得る。 ・会長 松田委員 ・副会長 桃田委員
会長あいさつ	会長 あいさつ
議題 「第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画」中間年の見直しについて	<p><b>議題1 中間見直しの方針について</b> (説明：事務局) <b>【要点】</b> 第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から令和6年度までの5か年計画であり、今年度は中間年にあたる。 国が示す基本指針及び本計画において、計画期間の中間年を目安として必要に応じて計画の見直しを行うこととされていることから、今年度に見直し作業を実施する。</p> <p><b>【質疑応答】</b> 意見無し</p> <p><b>議題2 各事業の計画値に対する進捗状況（計画値との対比）</b> (説明：事務局) <b>【要点】</b> 本町の人口推移を見ると、総人口は微減傾向にあり、令和4年では3万609人となっている。年齢3区分別に見ると、65歳以上の人口は増加しているが、15歳から64歳の人口と、0歳から14歳の人口は、いずれも減少している。 就学前児童、小学生別に人口の推移を見ると、就学前児童は、平成29年から減少傾向にあり、小学生は増減を繰り返している。 本町の合計特殊出生率は、全国と県を下回る水準で近年は減少傾向にあったが、平成27年に上昇し、令和2年には全国とほぼ同水準となっている。</p> <p><b>【質疑応答】</b> (委員) P5～6の一時預かり事業や、病児病後児保育事業で、実績が低くなっている。これはコロナの影響があったものと推察されるが、今後コロナが終息した後のニーズについても検討を始める必要があると思われる。園の先生の意見が聞きたい。</p>

(委員)

預かり保育等について、リフレッシュ目的で利用されていた方が、感染拡大を懸念して利用を控えられたケースはあるが、多くは就労目的で預けられている利用者であり、コロナに関係なく利用されていたため、体感的には影響はなかった。

(事務局)

病児・病後児保育については、例年 10 件程度の利用のところ、昨年は 20 件の利用があったが、園長からコロナの影響ではないと聞いている。

(委員)

以前、預かり保育の利用を相談したことがあったが、園に受けていただけなかった。量の見込み(確保方策)が 1,500 人日で、実績が 268 人日となっているがニーズがないのか。預けたいけれど預けられなかったという声は今まで聞いているか。

(事務局)

一時預かりの量の見込みについては、過去の実績等から推計値を算出しており、実績については、実際に利用された件数をカウントしている。

(委員)

園に対して、預けたいけれど預けられなかったという声は来ていない。コロナ関連と思われる利用意向もあったが、その時の園の体制(園児数や職員など)によってはお断りするケースもある。

(委員)

養育支援訪問事業について、実績値は令和 2 年度、3 年度のいずれも 0 人となっているが、養育支援訪問事業を提供すべき家庭はないということか。

(事務局)

この事業は、親が子どもを虐待していると疑われるような家庭で出産された場合に、その家庭を訪問するという事業になっている。しかし、町ではこんにちは赤ちゃん事業を実施しており、その中で養育支援の内容を含めて訪問している。令和 2 年度、3 年度については、養育支援のレベルに至る家庭はなかったという実績である。

(委員)

いなみっこ広場が令和 3 年度から開設されているが、文中にもっと表現しなくてもよいのか。

(事務局)

いなみっこ広場において一時預かりも、新たに始まっているので、計画にも今後反映していきたい。

### 議題 3 今後のスケジュールと議題について

(説明：事務局)

#### 【要点】

8 月(今回)：計画の見直しについて

10 月：計画素案の作成

12 月：パブリックコメント

翌 1 月：見直し(案)の作成

	<p>(委員) この計画の見直しとは、現在取り組んでいる施策を見直すのか、現状のデータや数値を見直すものか。</p> <p>(事務局) 今回の見直しは、5か年の計画の中間年である今年度に、令和2～3年度の実績値を踏まえて現状を分析し、今後の計画の数字が適正なのかを見定めるためのもの。</p> <p>委員においては、中間見直しの素案を見ていただき、パブリックコメントの結果も踏まえたうえでご意見をいただきたい。</p>
<p>その他</p>	<p>「いなみ野 母里こども園」について (説明：事務局)</p> <p><b>【要点】</b> 令和4年4月にいなみ野母里こども園が開設された。 これにより、幼稚園部分として新たに15人の園児を預かる。 毎週木曜日には、母里カフェという事業を開催。これは、誰でも参加でき、子育てに関する相談ができるコミュニティー事業。</p> <p><b>【質疑応答】</b> (委員) これは町で建てたのか。 (事務局) 事業主体は母里福祉会であり、町は国や県と合わせて増改築に係る補助金を出している。</p> <p>(委員) 母里カフェに参加したことがあるが、園の作りや異年齢保育の取り組みなど、面白そうだと感じた。町も視察等を行っているのか。 (事務局) 議会関連で、建設中と完成後の計2回の視察を実施している。 また、最近の町の取り組みとして、こども課育児支援係で家庭総合支援拠点という窓口を開設している。ぜひご利用いただきたい。</p>
<p>閉会 15:00</p>	<p>閉会のあいさつ 解散</p>